



TITLE:

哀辞

AUTHOR(S):

京都大学経済学会

CITATION:

京都大学経済学会. 哀辞. 経済論叢 2003, 171(2)

ISSUE DATE:

2003-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/45537>

RIGHT:

經濟論叢

第171巻 第2号

哀 辞

故降旗武彦名誉教授遺影および略歴

シャープの対米輸出マーケティング(3).....近 藤 文 男 1

会社人間の閉塞感.....松 山 一 紀 18

リスク回避, 契約からの
退出コストと資産選択(2).....陳 力 陽 41

イギリス行財政改革における
Private Finance Initiative 導入の意義.....杉 浦 勉 50

予防原則と費用効果からみた
ダイオキシン排出削減策の評価(2).....村 木 正 義 73

追 憶 文

降旗武彦先生追悼.....岸 田 民 樹 87

冬嶺孤松秀ず.....赤 岡 功 91

平成15年2月

京 都 大 学 經 済 學 會

哀 辞

降旗武彦先生は 2002年 8月 8日 白玉楼中の人となりました
ここに謹んで哀悼の意を表します

先生は 1942年京都帝国大学に入学され 学徒出陣後復学 1947年
新制京都大学をご卒業 大学院で二期にわたり特別研究生となられた
あと 1951年京都大学講師(経済学部)となられ 助教授を経て1970
年教授にご就任 1986年ご退官になられるまで 本学の杏壇にあって
研究と教育に傾倒されました

先生はバーナードの翻訳を日本で最初に企画し 同志を誘って完成
させ 京都大学がバーナード研究の中心となる基盤をつくられました
しかし それにとどまることなく 組織理論を基礎に 経営学の研究
を深められ 管理過程理論の動態化 環境と組織の関係の理論化によ
り学界に大きな貢献をなさいました

先生は経済学部にとって大変厳しい時期に経済学部長 大学院経済
学研究科長 京都大学評議員 大学院審議会委員をお務めになられ
本学の運営に貢献されました また 文部省大学設置審議会専門委員
として日本の大学における教育研究の深化 発展に大きな役割を果た
されました

さらに 先生は本学在職中 本学会の評議員あるいは評議員長とし
て本学会の発展に尽くされるときに 本誌に寄せられた論考は本誌
の伝統に輝かしい光を加えられました

京都大学経済学会は 謹んで先生の遺影を掲げ 衷心より哀悼の意
を表します

平成15年 2月

京都大学経済学会